

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		26年 6月 10日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪府枚方市伊加賀緑町2番2号		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 恩地食品株式会社 代表取締役社長 恩地 宏英
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称		
恩地環境推進会議(恩地独自システム) /		
適 用 範 囲		
京都工場設備全般		
導 入 年 月 日		
23年 10月 1日		
認 証 番 号		
基 本 方 針		
私たちは生産活動のすべてにおいて「地球に優しい工場」を基本理念として、社員一同地球温暖化問題を重要視し、改善を努めます。		
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）		①CO2排出量 2010年度を基準に原単位（生産数量ベース）で2017年度に8%削減、総排出量は6%削減、廃棄物（植物性残渣量）3%削減を目指す。
目標を達成するための取組の内容		CO2削減 老朽化の設備の更新（省エネ型）検討・冷蔵設備高効率エアコンに8機変更（冷凍庫1機）・廃棄物の減量活動
目標を達成するための取組の進捗状況		CO2削減 13年 度実行 ロジ室冷蔵庫の老朽化エアコン8機更新（省エネ型）
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価		2013年度 順調に推移する＝原単位約3%減（3年通期で10%以上） 総排出量は生産量110%伸びに対して107%の増になも（3年通期約4%減）生産に対する指標としては、評価はできるものとする。廃棄物も排出量と同じく生産増の中で102%増加したが悪い数字ではない。3年通期の目標値はクリアし全体的に高評価できる。
事業活動に係る法令の遵守の状況		関連法規に確認は1ヶ月に一度確認をしています。これまでの違反及び行政当局からの指摘はございません。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容		評価・見直しの必要性については、1年1回検討していきます。24年度も一定の成果が見られたので25年度も同一システムで推進する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。